

履修の手引き

看護学部看護学科

1 看護学部の教育目的・教育課程

(1) 看護学部の教育目的

本学は、「仁心妙術」と「徳風四海に洽(あまね)く」を教育理念に掲げ、人を慈しむ豊かな人間性と保健・医療・福祉に関する高い知識と技能を備え、学生が会得する知識や技能をすべからず人類愛に基づき世界（四海）に広める気概を持って社会に貢献することとしている。

本学看護学部では、「地域で学び、地域を学ぶ」及び「地域で育ち、地域が育つ」を学びの特徴として、地域の多様なニーズに対応できる質の高い看護を修得し、探求心を持って、生涯にわたって自律的に自己研鑽する看護職の育成を教育上の目的とする。

(2) 教育目標

本学看護学部では、多様化する保健医療福祉の分野で、地域の生活基盤を支える質の高い専門職業人材としての看護職者、健康寿命の延伸、地域包括ケアシステム整備に寄与する専門職としての看護職者、多職種連携チームの中核としての看護職者の育成を目指し、次のような人材を育成する。

- ア 善き社会人として必要な教養知識を備える。
- イ 生命の尊厳や人権を守り、多様な価値観を尊重して行動できる。
- ウ 専門知識・技術を基盤とし、看護実践能力を修得している。
- エ 保健医療福祉チームの一員として、連携・協働する能力を持つ。
- オ 自律的に自己研鑽に努める。

(3) 到達目標（卒業認定・学位授与方針：ディプロマポリシー）

- ア 基礎知識を用いて論理的に分析・判断し、的確に表現する能力を有する
- イ 生命への畏敬の念、人間尊重の態度を有する
- ウ 人間・健康・社会の関係を幅広い視野から体系的に理解し、地域を知り、専門知識・技術を基盤とした看護実践能力を有する
- エ 保健医療福祉に関わるチームの一員として、多職種と連携・協力できる能力を有する
- オ 生涯にわたり専門性を高め、継続的に看護学を探究する力を有する

(4) 教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

- ア 基礎となる知識や幅広い教養を身につける
教養科目に、人文科学、社会科学、自然科学、体育学の各科目を配置し、専門基礎科目に「健康科学概論」、「保健医療福祉行政論」を配置しています。
- イ 論理的な思考や判断、的確な表現能力を身につける
導入科目に「大学基礎セミナーⅠ」、人文科学に「大学基礎セミナーⅡ（国語）」、自然科学に「大学基礎セミナーⅢ（情報）」を配置し、外国語科目を配置しています。
- ウ 医療従事者を志すものとして、高い倫理観を身につける
教養科目の人文科学に「倫理学」、「心理学」、「哲学」を、社会科学に「日本国憲法・法学」を配置し、専門基礎科目に「生命倫理」、「臨床心理学」を配置しています。
- エ 多様性や個性を尊重する態度を身につける
導入科目に「大学基礎セミナーⅠ」を、教養科目の人文科学に「文化人類学」を配置し、専門科目の臨地実習に「早期体験実習」を配置しています。

- オ 人間・健康・社会の関係を広い視野から体系的に身につける
教養科目の人文科学に「人間関係論」、社会科学に「教育学」、自然科学に「加齢の科学」を配置し、専門基礎科目の環境と健康に「健康科学概論」、「保健医療福祉行政論」を配置しています。
- カ 専門知識と技術に基づく看護実践能力を身につける
モデル・コア・カリキュラムを参照し、専門基礎科目、専門科目、臨地実習を構成しています。
- キ 地域の課題に積極的に関わり地域に貢献する職業人としての意識を身につける
教養科目の人文科学に「信州学」、自然科学に「ヒトと自然の共生」を配置し、専門科目の臨床実習に「領域別実習」、「統合実習Ⅱ」を配置しています。
- ク 多様な場における多職種連携チームの一員となる力を身につける
専門科目に「I P W論」、「I P W方法論」(I P E関連科目)、「統合実習Ⅰ(管理実習)」、「統合実習Ⅱ(地域包括ケア)」、「災害看護学」、「国際看護学」を配置しています。さらに、多様な場における多職種連携チームの一員になる力を育てるため、保健科学部との合同によるI P Eに関連する科目を1~3年次に配置し、4年次の「統合実習Ⅰ(管理実習)・Ⅱ(地域包括ケア)」により現場における連携について学修します。
- ケ 看護研究能力を身につける
専門科目に、「看護研究法」、「看護課題探求Ⅰ」、「看護課題探求Ⅱ」、「看護の専門と発展」を配置しています。
- コ 自律的な学習能力を身につける
全ての科目に共通します。また、外国語科目に関しては、1~4年次にわたり「英語Ⅰ(読む・書く)」、「英語Ⅱ(聞く・話す)」、「英語Ⅲ」、「医学英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を配置しています。

(5) 卒業時に取得できる資格

本学看護学部においては、必要な単位を取得し卒業した学生に、「看護師国家試験受験資格」と「社会福祉主事任用資格」を与えられます。

また、保健師課程を修了した学生に「保健師国家試験受験資格」と「社会福祉主事任用資格」を与えられます。なお、保健師資格取得者は、申請により第一種衛生管理者及び養護教諭二種免許を取得できます。

2 教育体系図

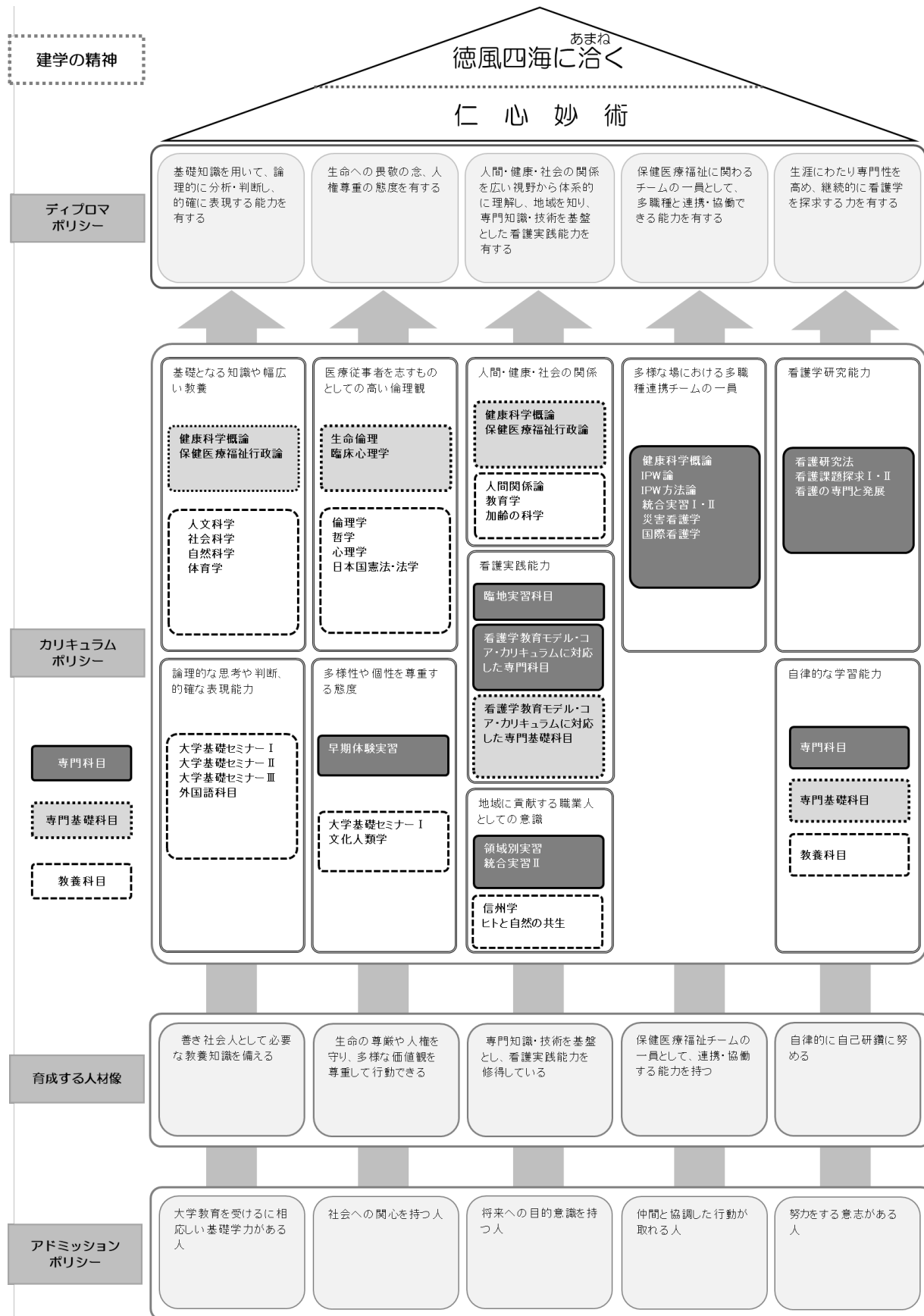


図1 教育体系図

3 カリキュラムの構成

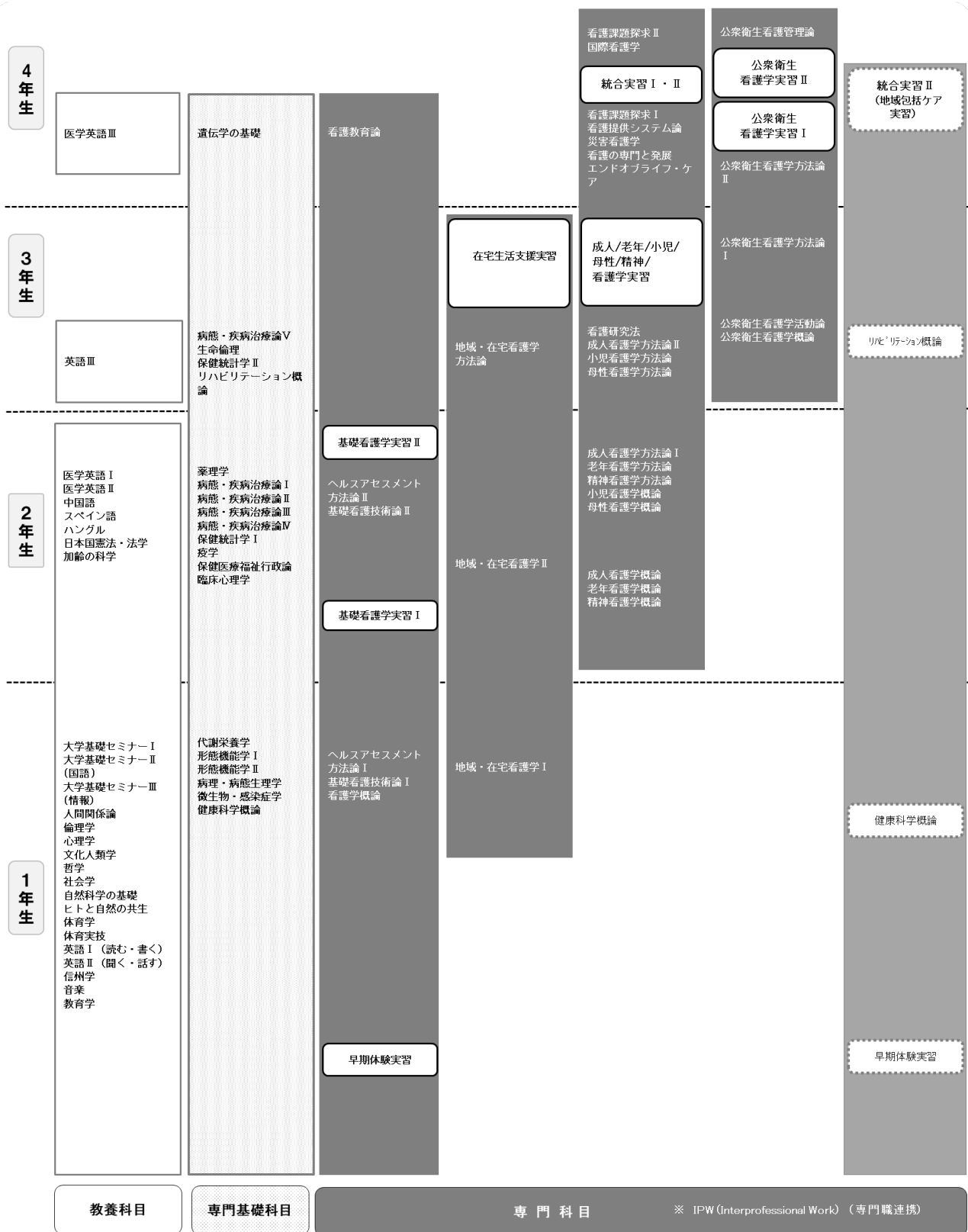


図2 カリキュラムの構成

4 教員体制

講座・分野		氏名	担当科目
学部長		松本あつ子	大学基礎セミナーⅠ/保健医療福祉行政論/看護学概論/ IPW演習Ⅰ/IPW演習Ⅱ/IPW方法論/看護提供システム論/ 看護の専門と発展/看護課題探求Ⅰ/看護課題探求Ⅱ/ 早期体験実習/統合実習Ⅰ/統合実習Ⅱ/
基 盤 盤 領 域	基礎看護学	西村明子	基礎看護技術論Ⅰ.Ⅱ/ヘルスアセスメント方法論Ⅰ.Ⅱ/ 看護研究法/看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/ 早期体験実習/基礎看護学実習Ⅰ.Ⅱ/ 統合実習Ⅰ(管理実習)/統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/
		小林由枝	大学基礎セミナーⅠ/基礎看護技術論Ⅰ.Ⅱ/ ヘルスアセスメント方法論Ⅰ.Ⅱ/看護教育論/看護研究法/ 看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/早期体験実習/基礎看護学実習Ⅰ.Ⅱ/ 統合実習Ⅰ(管理実習)/統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/
		松石健太郎	大学基礎セミナーⅡ(国語)/形態機能学Ⅱ/ 基礎看護技術論Ⅰ.Ⅱ/ヘルスアセスメント方法論Ⅰ.Ⅱ/ 看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/早期体験実習/基礎看護学実習Ⅰ.Ⅱ/ 統合実習Ⅰ(管理実習)/統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/
		宮越由賀	基礎看護技術論Ⅰ.Ⅱ/ヘルスアセスメント方法論Ⅰ.Ⅱ/ 看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/早期体験実習/基礎看護学実習Ⅰ.Ⅱ/ 統合実習Ⅰ(管理実習)/統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/
	精神看護学	田中高政	大学基礎セミナーⅡ(国語)/ヘルスアセスメント方法論Ⅰ/ 精神看護学概論/精神看護学方法論/IPW演習Ⅰ/IPW演習Ⅱ/ IPW方法論/看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/精神看護学実習/統合実習 Ⅰ(管理実習)/統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/
	在宅看護論	横関祐子	地域・在宅看護学Ⅰ.Ⅱ/地域・在宅看護論方法論/IPW演習Ⅰ/ IPW演習Ⅱ/IPW方法論/看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/ エンドオブライフ・ケア/在宅生活支援実習/ 統合実習Ⅰ(管理実習)/統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/
		山本順子	大学基礎セミナーⅡ(国語)/地域・在宅看護学Ⅰ.Ⅱ/地域・在宅 看護論方法論/看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/エンドオブライフ・ケア/早期 体験実習/在宅生活支援実習/統合実習Ⅰ(管理実習)/統合実 習Ⅱ(地域包括ケア実習)/

講座・分野		氏名	担当科目
発達看護学領域Ⅰ	小児看護学	内田 美恵子	大学基礎セミナーⅡ(国語)/病態・疾病治療論Ⅴ/ 小児看護学概論/小児看護学方法論/看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/ 小児看護学実習/統合実習Ⅰ(管理実習)/ 統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/
		箕口 ゆう子	大学基礎セミナーⅡ(国語)/小児看護学方法論/ 看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/小児看護学実習/ 統合実習Ⅰ(管理実習)/統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/
	母性看護学	坂口 けさみ	大学基礎セミナーⅠ/大学基礎セミナーⅡ(国語)/健康科学概論/ 母性看護学概論/母性看護学方法論/看護の専門と発展/ 看護研究法/看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/母性看護学実習/ 統合実習Ⅰ(管理実習)/統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/
		小林 康子	大学基礎セミナーⅡ(国語)/母性看護学方法論/ 看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/母性看護学実習/統合実習Ⅰ(管理実習)/ 統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/
		Hii.Ching.Ping	大学基礎セミナーⅡ(国語)/母性看護学方法論/ 看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/母性看護学実習/統合実習Ⅰ(管理実習)/ 統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/
発達看護学領域Ⅱ	成人看護学	林 かおり	大学基礎セミナーⅡ(国語)/病態・疾病治療論Ⅱ.Ⅳ.Ⅴ/ 健康科学概論/成人看護学概論/成人看護学方法論Ⅰ.Ⅱ/ 看護の専門と発展/看護研究法/看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/ 成人看護学実習/統合実習Ⅰ(管理実習)/統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/
		ミルズ しげ子	大学基礎セミナーⅡ(国語)/成人看護学方法論Ⅰ.Ⅱ/ 看護提供システム論/看護の専門と発展/看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/ 病態・疾病治療論Ⅰ.Ⅲ/看護研究法/成人看護学実習/ 統合実習Ⅰ(管理実習)/統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/
		羽田 かおり	大学基礎セミナーⅡ(国語)/成人看護学方法論Ⅰ.Ⅱ/看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/ 成人看護学実習/ 統合実習Ⅰ(管理実習)/統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/
		寺島 公江	大学基礎セミナーⅠ/大学基礎セミナーⅡ(国語)/ 成人看護学方法論Ⅰ.Ⅱ/看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/成人看護学実習/ 早期体験実習/統合実習Ⅰ(管理実習)/統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/

講座・分野		氏名	担当科目
発達看護学領域	老年看護学	鈴木真理子	大学基礎セミナーⅡ(国語)/老年看護学概論/ 老年看護学方法論/IPW 演習Ⅰ/IPW 演習Ⅱ/IPW 方法論/リハビリテーション看護論/遺伝学の基礎/看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/エンドオブライフ・ケア/老年看護学実習/統合実習Ⅰ(管理実習)/統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/
広域看護学領域	公衆衛生看護学	依田明子	健康科学概論/保健医療福祉行政論/地域・在宅看護学Ⅰ/IPW 演習Ⅰ/IPW 演習Ⅱ/IPW方法論/看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/統合実習Ⅰ(管理実習)/統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/看護研究法/公衆衛生看護学概論/公衆衛生看護学活動論/公衆衛生看護学方法論Ⅰ.Ⅱ/公衆衛生看護管理論/公衆衛生看護学実習Ⅰ.Ⅱ
		堀内和子	大学基礎セミナーⅠ/保健医療福祉行政論/看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/統合実習Ⅰ(管理実習)/統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/公衆衛生看護学概論/公衆衛生看護学活動論/公衆衛生看護学方法論Ⅰ.Ⅱ/公衆衛生看護管理論/公衆衛生看護学実習Ⅰ.Ⅱ/
		吉澤恵子	地域・在宅看護学Ⅰ/看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/統合実習Ⅰ(管理実習)/統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/公衆衛生看護学概論/公衆衛生看護学活動論/公衆衛生看護学方法論Ⅰ.Ⅱ/公衆衛生看護管理論/公衆衛生看護学実習Ⅰ.Ⅱ/
	災害・国際看護学	宮越幸代	大学基礎セミナーⅡ(国語)/IPW 論/IPW 演習Ⅰ/IPW 演習Ⅱ/IPW 方法論/災害看護学/国際看護学/看護課題探求Ⅰ.Ⅱ/統合実習Ⅰ(管理実習)/統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)/公衆衛生看護管理論/

履修に関する事項

1 授業

(1) 学年

学年は、4月1日に始まり翌年3月31日までです。

(2) 学期

学年を半期毎、前期と後期に区分します。

前期：4月1日から9月第3週まで

後期：9月第4週から翌年3月31日まで

(3) 単位

授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業方法に応じ授業の教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を定めています。

ア 講義及び演習については、15時間から45時間の授業をもって1単位とします。

イ 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とします。

(4) 授業時間

授業時間は原則として次の通りです。なお、授業科目によって別に指定することがあります。

時限	授業時間帯	時間
第1時限	9：00 ～ 10：30	90分
第2時限	10：40 ～ 12：10	90分
昼休み	12：10 ～ 13：00	50分
第3時限	13：00 ～ 14：30	90分
第4時限	14：40 ～ 16：10	90分
第5時限	16：20 ～ 17：50	90分

※ 土曜日、日曜日、祝日に授業を行う場合があります。

(5) 授業科目の種類

ア 科目区分

本学の授業科目は、教養科目、専門基礎科目、専門科目に分けられます。

イ 必修・選択科目

各授業科目は、必修科目、選択科目から構成されます。

必修科目：卒業のために必ず単位を修得しなければならない科目

選択科目：定められた条件内で選択できる科目

(6) 出席・欠席・遅刻・早退・欠課

- ・ 出欠確認は、科目の担当教員が行います。公欠・欠席・遅刻以外の連絡については、事務室では取り扱いません。
- ・ 遅刻及び早退は2回をもってその科目の1授業時間の欠課として扱われます。

- ・ 30分以上の遅刻、早退は1授業時間の欠課として扱います。
- ・ 実習については、原則として遅刻及び早退2回をもって1日の欠席として扱います。

(7) 休講・補講・集中講義

- ア 休講：荒天や災害発生時(第4「学生生活に関する事項」5災害等への対応参照)及び、担当教員が都合により授業ができなくなった場合は、休講とします。
- イ 補講：休講となった授業又は時間数が不足している授業等を補うために補講を行います。
- ウ 集中講義：授業科目により、ある一定期間に集中して講義を行うことがあります。

2 履修登録

(1) 履修登録とは

卒業するためには、学則に定められた所定の科目を履修し、単位を修得する必要があります。さらに、授業を受けるためには履修登録が必要です。指定された期日までに履修登録を行わなかった場合は、たとえ授業に出席していても、その科目の単位は修得できませんので十分注意してください。

(2) 履修登録の流れ

ア オリエンテーション

学生便覧から履修に関する部分とシラバス、時間割を説明します。

イ プランニング時間割表の作成

配布された資料をもとに、時間割表を作成してください。

ウ 履修登録

学生用情報システム(Active Academy)から履修登録を行います。選択科目の履修登録も必ず行ってください。

エ 履修登録内容の修正・確認

学生用情報システム(Active Academy)から時間割表が正しく登録されているか確認してください。

オ 最終登録4月10日(水)17:00までです。

カ 履修登録修正期間

4月11日(木)～4月15日(月)17:00まで

キ 履修登録確認期間

前期：4月11日(木)～4月15日(月)17:00まで

後期：9月24日(火)～9月27日(金)17:00まで

(3) 履修にあたり修得が必要な科目

ア 「教養科目」・「専門基礎科目」については以下の通りです。

科目	修得が必要な科目
医学英語Ⅱ	英語Ⅰ（読む・書く）、英語Ⅱ（聞く・話す）、医学英語Ⅰ
医学英語Ⅲ	医学英語Ⅱ
病態疾病治療論Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ/Ⅴ	形態機能学Ⅰ、形態機能学Ⅱ
保健統計学Ⅱ	保健統計学Ⅰ
看護課題探求Ⅰ	看護研究法

イ 「専門科目」については、それまでに開講される「専門基礎科目」の必修科目の単位を修得していなければ、履修することはできません。

ウ 「専門科目」の『臨地実習』については、イの条件に加え、各分野の講義・演習の単位、それまでに行われる実習の単位を修得する必要があります。科目名について、以下を参照してください。

科目	修得が必要な科目
基礎看護学実習Ⅰ	看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ、基礎看護技術論Ⅱ、ヘルスアセスメント方法論Ⅰ、早期体験実習
基礎看護学実習Ⅱ	ヘルスアセスメント方法論Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰ
在宅生活支援実習	地域・在宅看護学Ⅰ、地域・在宅看護学Ⅱ、地域・在宅看護学方法論、基礎看護学実習Ⅱ
成人看護学実習	成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅰ、成人看護学方法論Ⅱ、基礎看護学実習Ⅱ
老年看護学実習	老年看護学概論、老年看護学方法論、基礎看護学実習Ⅱ
小児看護学実習	小児看護学概論、小児看護学方法論、基礎看護学実習Ⅱ
母性看護学実習	母性看護学概論、母性看護学方法論、基礎看護学実習Ⅱ
精神看護学実習	精神看護学概論、精神看護学方法論、基礎看護学実習Ⅱ
統合実習Ⅰ（管理実習） 統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）	在宅生活支援実習、成人看護学実習、老年看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習、精神看護学実習
公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ	公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学活動論、公衆衛生看護学方法論Ⅰ、公衆衛生看護学方法論Ⅱ、在宅生活支援実習、成人看護学実習、老年看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習、精神看護学実習

(4) 履修の注意事項

履修登録に当たっては履修課程表を参考に履修基準に沿って登録してください。

ア 1年間の必修科目・選択科目を登録してください。

イ 履修年次が指定されている科目は、その年次において履修してください。

ウ 原則としてⅠ・Ⅱ・Ⅲ等のついた科目は、数字の順番に履修してください。

エ 中国語、スペイン語、ハングル語は他学部との共通科目であることから、開講人数の制限により履修登録をしても受講できない場合があります。その場合、履修登録の変更をお願いすることがあります。また、その他の科目についても最低限必要とする開講人数に達しない場合も同様です。

- オ 同一時間帯に開講される2つ以上の科目を同時に履修することはできません。
- カ 履修登録した科目は確実に履修し、試験を受けなければなりません。登録しただけで受講せずに終わると総合評価が下がります。履修を取り消す場合は履修登録修正期間に申請してください。
- キ 科目名が同じであっても、在籍している学科ではない科目は、履修登録できません。
- ク 既に履修した科目は、再度履修することはできません。ただし、担当教員の許可を得た場合は聴講することができます。
- ケ 単位修得できなかった科目は、必ず履修登録（再履修登録）を行ってください。
- コ 看護学科の年間履修単位数の上限は、48単位とします。ただし、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については上限を超えて履修科目を登録することを認める場合があります。

3 他大学等の既修得単位の認定

本学入学前に大学、短期大学、高等専門学校等で修得した単位を本学の単位として認定する場合があります。既修得単位の認定を希望する場合には、以下により申請してください。

(1) 申請書類

- ア 既修得単位認定申請書
- イ 成績証明書
- ウ 当該科目の内容が分かるもの（シラバス・講義概要）

(2) 申請時期

4月12日（金）17：00まで

(3) 書類の請求及び提出先

学務部（本館事務室）

(4) 認定の通知

4月中に本人に認定通知書を交付します。

(5) その他

- ア 既修得単位の認定は学則により60単位までと決められています。
- イ 申請した単位が認定されずとは限らないため、不認定になった場合を考慮して履修登録を必ず行ってください。
- ウ 認定の申請は入学時のみです。また期日を過ぎて申請することはできません。

4 卒業要件

看護学科の卒業に必要な履修科目の単位数は、次の表のとおりです。

【2022 年度入学生】

区 分	教養科目	専門基礎科目	専門科目	合 計
必修科目	17 単位	23 単位	73 単位	113 単位
選択科目	8 単位以上	2 単位	4 単位	14 単位以上
合 計	25 単位以上	25 単位	77 単位	127 単位以上

【2023 年度以降入学生】

区 分	教養科目	専門基礎科目	専門科目	合 計
必修科目	17 単位	23 単位	72 単位	112 単位
選択科目	8 単位以上	2 単位	4 単位	14 単位以上
合 計	25 単位以上	25 単位	76 単位	126 単位以上

ア 教養科目：

- ① 「中国語」、「スペイン語」、「ハングル」のうち1科目（2単位）を選択してください。
- ② 人文科学の「心理学」、「文化人類学」、「哲学」、「信州学」、「音楽」のうち3単位以上を選択してください。
- ③ 社会科学の「社会学」、「教育学」、「日本国憲法・法学」のうち2単位以上を選択してください。
- ④ 自然科学の「ヒトと自然の共生」、「加齢の科学」のうち1単位以上を選択してください。

イ 専門基礎科目：「臨床心理学」、「疫学」、「保健統計学Ⅱ」、「リハビリテーション概論」、「遺伝学の基礎」のうち2単位以上を選択してください。

ウ 専門科目：「国際看護学」、「エンドオブライフ・ケア」、「看護課題探求Ⅱ」のうち4単位を選択してください。

エ 保健師国家試験受験資格取得のためには公衆衛生看護学科目の全科目を修得し、卒業要件単位として合わせて143単位以上を取得してください。

なお、教養科目：「日本国憲法・法学」（2単位）及び専門基礎科目：「保健統計学Ⅱ」（1単位）、「疫学」（2単位）計5単位を必ず選択してください。

また、看護師課程必修科目（必修・選択必修）を履修・単位修得する他に、下記の科目11科目19単位の履修及び単位修得が必要です。

1年：大学基礎セミナーⅢ（情報）、健康科学概論、地域・在宅看護学Ⅰ

2年：保健医療福祉行政論、保健統計学Ⅰ、疫学、地域・在宅看護学Ⅱ

3年：保健統計学Ⅱ、地域・在宅看護学方法論

4年：看護提供システム論、災害看護学

オ 保健師免許状取得後の養護教諭二種免許状取得のための科目履修

保健師助産師看護師法第7条の規定により、保健師の免許状を受けた者が、養護教諭二種免許状を取得する場合、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目である、日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、数理、データの活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作の単位を修得している必要があります。

日本国憲法に対応する科目は「日本国憲法・法学」2単位（2年次）、体育に対応する科目は、「体育（実技）」1単位（1年次）及び「体育学」1単位（1年次）外国語コミュニケーションに対応する科目は、「英語Ⅰ（読む・書く）」1単位（1年次）及び「英語Ⅱ（聞く・話す）」1単位（1年次）、数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作に対応する科目は、「大学基礎セミナーⅢ（情報）2単位（1年次）で、これらの科目は卒業に必要な単位となっています。

5 試験

(1) 定期試験

学期末ごとに定期試験を行います。担当教員が必要と認めるときは、別に試験を行うことがあります。

授業の出席時間数が、授業の総時間数の3分の2未満の場合は定期試験の受験資格がありません。

ア 試験場は時間割表で確認し、指定された試験場で受験してください。座席は、試験場の扉に掲示してある座席表を確認し着席してください。

イ 学生証を机の上に提示してください。学生証を忘れた場合は、本館または南館の事務室で、仮学生証（発行日の記載受験科目のみ有効）を申請してください。

ウ 机の上に置けるのは、筆記用具（筆箱を除く）と学生証のみです。許可を得たもの以外は机の上に置かないでください。

エ バッグはロッカーに入れてください。

オ 試験場へのスマートフォン・スマートウォッチ・ワイヤレスイヤホン等、通信機能のある機器・ウェアラブル機器の持ち込みを禁止します。携帯電話等が確認された時点で不正行為と見なされます。

カ 試験開始より30分以上遅刻した場合はその科目の受験はできません。

キ 試験開始後30分を経過するまでは試験場より退出することはできません。

ク 不正行為が行われたと認めた場合には、本学学則第48条に定める懲戒処分の対象とすることがあります。

ケ 試験に関しては、試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は不正行為と見なされます。

コ 特別な事情により、試験場への持ち込み・着用の必要がある者は、その旨を事前に試験監督者に申し出てください。

(2) 再試験・追試験

ア 試験により、成績が60点未満であった者に対しては、担当教員が必要と認める場合、再試験を行うことがあります。なお、学生がやむを得ない理由により定期試験を受験で

きなかった場合は、追試験を行います。

イ 再試験及び追試験を受験する場合は、所定の期日までに受験料（再試験1科目2,000円、追試験1科目1,000円）を添え、本館事務室に申し込んでください。

ウ 正当な理由がなく定期試験を欠席した者は、その年度の当該科目の追試験を受けることができません。

エ 追試験を認める正当な理由とは、次のとおりです。

① 病気及び負傷（診断書の提出）

② 公欠（第3の4の(2)に定める公欠）

③ その他やむを得ないと認められる場合（理由を証明する書類の提出）

なお、上記①～②に該当する場合は受験料を納入する必要がありません。

オ 再試験・追試験受験のために授業を欠席する場合は、公欠扱いとします。

カ 再試験・追試験の実施方法は、上記(1)（定期試験）に準じて行います。机上に領収証を提示してください。

注 再試験及び追試験に係る申請手続きについては、第3、「5 就学中の各種届出・証明一覧」を参照してください。

6 臨地実習の単位

臨地実習においては、出席が5分の4に満たない場合は、評価の資格を失います。

7 成績評価

(1) 評価区分

成績の評価をS、A、B、C、D、としS、A、B、Cを合格、Dを不合格とします。

合格と認定された授業科目については、所定の単位が与えられます。

評価	評点	グレードポイント G P	単位認定
S	90点以上	4	合格
A	80点以上～90点未満	3	
B	70点以上～80点未満	2	
C	60点以上～70点未満	1	
D	60点未満	0	不合格
N	他大学等で履修した科目を本学の単位として認定したことを表す。	GPは付与しない	単位認定

注 再試験で合格した場合の成績は、「C」とする。

(2) 成績通知

成績は学生用情報システム（Active Academy）により通知します。なお、前期、後期とも学生に書面でも配布します。

(3) 再履修

単位の修得が認められなかった授業科目は、次年度以降にその授業科目を再履修します。

(4) GPA(グレード・ポイント・アベレージ)制度

学業成績を年次毎に総合評価のポイントで表します。各科目の成績は次のようにポイント化します。

総合評価ポイントは次のように計算されます。

$$\text{GPA} = (\text{各科目のポイント (GP)} \times \text{各科目の単位数}) / (\text{履修登録の単位数})$$

GPA 制度は、

- ①学修状況の自己評価をする目安になります。
- ②学修の成果がより明確になります。
- ③履修登録に責任をもつことを目的とします。

また、GPA をもとに履修登録の上限を設定する場合があります。

(5) 生成系 AI の取扱い

リフレクション・ペーパー、レポート、卒業研究等の課題への取り組みにおいて、Chat GPT 等の生成系 AI が生成した文章、計算結果等は本人が作成したものではないため、使用を認めません。また、使用が確認された場合は、本学の「学生の懲戒等に関する規程」に基づき対処します。ただし、教員の許可があればその指示の範囲内で使うことは可とします。

8 他学科の授業科目の履修

他学科の授業科目の履修または聴講については、希望の科目について、許可を得て履修登録することができます。

ただし、演習科目、実習科目、履修人数の制限等、何らかの不都合が生じる科目については履修または聴講することができません。事前に学務部に申請し許可を得る必要があります。

9 高等教育コンソーシアム信州における他大学単位の扱い

長野県内大学単位互換協定に基づき、必要な手続きを行い、単位を取得することができます。

他大学での履修可能科目数は、個別に学長が認めた範囲とし、原則として本学の卒業必要単位に算入しません。

10 学生による授業評価

本学では、より良い授業が行われるように、授業科目の内容及び方法について、学生による授業評価を実施しています。

これは授業の質を高めるために行うもので、個々の教員の人気投票ではありません。皆さんの真剣な評価を期待します。皆さんの成績に影響を与えることはありません。

学生の皆さんからのフィードバックによって良い授業を作るという趣旨を理解いただき、協力をお願いします。

履修課程表

看護学科 履修課程表

注) ●必修科目 ○選択科目 ◎保健師必修科目

【2023年度以降入学生】

科目	区分	科目名称	ページ	配当	単位		看護学科				履修方法
					必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
基礎科目	導入科目	大学基礎セミナーⅠ	113	1前	2		●				看護師課程 25単位（必修17単位、選択8単位） 保健師課程 25単位（必修19単位、選択6単位） <人文科学>の「心理学」、「文化人類学」、 「哲学」、「信州学」、「音楽」のうち 3単位以上選択 <社会科学>の「社会学」、「教育学」、 「日本国憲法・法学」のうち2単位以上 選択。ただし、保健師課程は「日本国 憲法・法学」は必修科目 <自然科学>の「ヒトと自然の共生」、 「加齢の科学」のうち1単位以上選択 <外国語>の「中国語」、「スペイン語」、 「ハンガール」のうち1科目(2単位)選択
	人文科学	大学基礎セミナーⅡ(国語)	114	1前	2		●				
		人間関係論	115	1前	2		●				
		倫理学	116	1前	1		●				
		心理学	117	1前		2	○				
		文化人類学	118	1前		2	○				
		哲学	119	1前		1	○				
		信州学	120	1後		1	○				
		音楽	121	1後		1	○				
	社会科学	社会学	122	1前		2	○				
		教育学	123	1後		2	○				
		日本国憲法・法学	124	2前		2		○◎			
	自然科学	大学基礎セミナーⅢ(情報)	125	1前	2		●				
		自然科学の基礎	126	1前	2		●				
		ヒトと自然の共生	127	1前		2	○				
		加齢の科学	128	2前		1		○			
	体育学	体育(実技)	129	1前	1		●				
		体育学	130	1後	1		●				
	外国語	英語Ⅰ(読む・書く)	131	1前	1		●				
		英語Ⅱ(聞く・話す)	132	1後	1		●				
医学英語Ⅰ		133	2前	1			●				
医学英語Ⅱ		134	2後	1			●				
中国語		135	2後		2		○				
スペイン語		136	2後		2		○				
ハンガール		137	2後		2		○				
英語Ⅲ		138	3前		1			○			
医学英語Ⅲ		139	4前		1				○		
専門基礎科目	人間と環境	代謝栄養学	140	1後	2		●				
		形態機能学Ⅰ	141	1前	2		●				
		形態機能学Ⅱ	142	1後	2		●				
		病理・病態生理学	143	1後	2		●				
		薬理学	144	2前	2			●			
		病態・疾病治療論Ⅰ	145	2前	1			●			
		病態・疾病治療論Ⅱ	146	2前	1			●			
		病態・疾病治療論Ⅲ	147	2後	1			●			
		病態・疾病治療論Ⅳ	148	2後	1			●			
		病態・疾病治療論Ⅴ	149	3前	1				●		
		生命倫理	150	3前	1				●		
	臨床心理学	151	2後		2		○				
	環境と健康	微生物・感染症学	152	1後	2		●				
		健康科学概論	153	1後	2		●				
		保健医療福祉行政論	154	2後	2			●			
		保健統計学Ⅰ	155	2後	1			●			
		保健統計学Ⅱ	156	3前		1			○◎		
		疫学	157	2前		2		○◎			
リハビリテーション概論		158	3前		2			○			
遺伝学の基礎		159	4前		1				○		
専門科目	基礎看護学	看護学概論	160	1前	1		●				
		基礎看護技術論Ⅰ*1	161	1後	3		●				
		基礎看護技術論Ⅱ	162	2前	3			●			
		ヘルスアセスメント方法論Ⅰ	163	1後	1		●				
		ヘルスアセスメント方法論Ⅱ	164	2前	1			●			
		看護教育論	165	4前	2					●	

科目	区分	科目名称	ページ	配当	単位		看護学科				履修方法		
					必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次			
専門科目	地域・在宅看護論	地域・在宅看護学Ⅰ	166	1後	2		●					<看護の統合と実践>の「看護課題探求Ⅱ」、「エンドオブライフケア」、「国際看護学」のうち4単位以上選択	
		地域・在宅看護学Ⅱ	167	2前	2			●					
		地域・在宅看護学方法論	168	3前	2					●			
	成人看護学	成人看護学概論	169	2前	2				●				
		成人看護学方法論Ⅰ	170	2後	2				●				
		成人看護学方法論Ⅱ	171	3前	2					●			
	老年看護学	老年看護学概論	172	2前	2				●				
		老年看護学方法論	173	2後	2				●				
	小児看護学	小児看護学概論	174	2後	2				●				
		小児看護学方法論	175	3前	2					●			
	母性看護学	母性看護学概論	176	2後	2				●				
		母性看護学方法論	177	3前	2					●			
	精神看護学	精神看護学概論	178	2前	2				●				
		精神看護学方法論	179	2後	2				●				
	看護の統合と実践	IPW論	180	2後	1				●				
		IPW方法論	182	3前	1					●			
		看護研究法	183	3前	2					●			
		看護提供システム論	184	4前	2						●		
		災害看護学	186	4前	1						●		
		看護の専門と発展	187	4前	1						●		
		看護課題探求Ⅰ	188	4前	2						●		
		看護課題探求Ⅱ	189	4後		2					○		
		エンドオブライフ・ケア	190	4前		2					○		
		国際看護学	191	4後		2					○		
	臨地実習	早期体験実習	192	1前	1			●					
		基礎看護学実習Ⅰ	193	2前	1				●				
		基礎看護学実習Ⅱ	194	2後	2				●				
		在宅生活支援実習	195	3後	2					●			
		成人看護学実習	196	3後	4					●			
老年看護学実習		197	3後	4					●				
小児看護学実習		198	3後	2					●				
母性看護学実習		199	3後	2					●				
精神看護学実習		200	3後	2					●				
統合実習Ⅰ(管理実習)		201	4前	1						●			
統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)	202	4前	2						●				
公衆衛生看護学関連科目	公衆衛生看護学概論	203	3前		2				○◎				
	公衆衛生看護学活動論	204	3前		2				○◎				
	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	205	3後		2				○◎				
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	206	4前		2					○◎			
	公衆衛生看護管理論	207	4後		2					○◎			
	公衆衛生看護学実習Ⅰ※	208	4前		3					◎			
	公衆衛生看護学実習Ⅱ※	209	4前		2					◎			

※は保健師課程のみ履修可能

看護師課程：合計126単位（必修112単位、選択14単位）以上を取得すること。

保健師課程：合計142単位（必修132単位、選択10単位）以上を取得すること。

看護学科の年間履修単位数の上限は、48単位とします。

*1 2023年度入学生は「基礎看護技術論Ⅰ」を1年前期に履修済み。

看護学科 履修課程表

注) ●必修科目 ○選択科目 ◎保健師必修科目

【2022年度入学生】

科目	区分	科目名称	ページ	配当	単位		看護学科				履修方法	
					必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次		
基礎科目	導入科目	大学基礎セミナーⅠ	—	1前	2		●					看護師課程 25単位（必修17単位、選択8単位） 保健師課程 25単位（必修19単位、選択6単位） <人文科学>の「心理学」、「文化人類学」、 「哲学」、「信州学」、「音楽」のうち 3単位以上選択 <社会科学>の「社会学」、「教育学」、 「日本国憲法・法学」のうち2単位以上 選択。ただし、保健師課程は「日本国 憲法・法学」は必修科目 <自然科学>の「ヒトと自然の共生」、 「加齢の科学」のうち1単位以上選択 <外国語>の「中国語」、「スペイン語」、 「ハンガール」のうち1科目(2単位)選択
	人文科学	大学基礎セミナーⅡ(国語)	—	1前	2		●					
		人間関係論	—	1前	2		●					
		倫理学	—	1前	1		●					
		心理学	—	1前		2	○					
		文化人類学	—	1前		2	○					
		哲学	—	1前		1	○					
		信州学	—	1後		1	○					
	社会科学	音楽	—	1後		1	○					
		社会学	—	1前		2	○					
		教育学	—	1後		2	○					
	自然科学	日本国憲法・法学	—	2前		2		○◎				
		大学基礎セミナーⅢ(情報)	—	1前	2		●					
		自然科学の基礎	—	1前	2		●					
		ヒトと自然の共生	—	1前		2	○					
	体育学	加齢の科学	—	2前		1		○				
		体育(実技)	—	1前	1		●					
	外国語	体育学	—	1後	1		●					
		英語Ⅰ(読む・書く)	—	1前	1		●					
		英語Ⅱ(聞く・話す)	—	1後	1		●					
		医学英語Ⅰ	—	2前	1			●				
		医学英語Ⅱ	—	2後	1			●				
		中国語	—	2後		2		○				
スペイン語		—	2後		2		○					
ハンガール		—	2後		2		○					
英語Ⅲ		138	3前		1				○			
医学英語Ⅲ	139	4前		1					○			
専門基礎科目	人間と環境	代謝栄養学	—	1後	2		●				看護師課程 25単位（必修23単位、選択2単位） 保健師課程 26単位（必修26単位） 「臨床心理学」、「保健統計学Ⅱ」、 「疫学」、「リハビリテーション概論」、 「遺伝学の基礎」のうち2単位以上選択 ただし、保健師課程は「保健統計学Ⅱ」、 「疫学」は必修科目	
		形態機能学Ⅰ	—	1前	2		●					
		形態機能学Ⅱ	—	1後	2		●					
		病理・病態生理学	—	1後	2		●					
		薬理学	—	2前	2			●				
		病態・疾病治療論Ⅰ	—	2前	1			●				
		病態・疾病治療論Ⅱ	—	2前	1			●				
		病態・疾病治療論Ⅲ	—	2後	1			●				
		病態・疾病治療論Ⅳ	—	2後	1			●				
		病態・疾病治療論Ⅴ	149	3前	1					●		
	生命倫理	150	3前	1					●			
	臨床心理学	—	2後		2		○					
	環境と健康	微生物・感染症学	—	1後	2		●					
		健康科学概論	—	1後	2		●					
		保健医療福祉行政論	—	2後	2			●				
		保健統計学Ⅰ	—	2後	1			●				
		保健統計学Ⅱ	156	3前		1				○◎		
疫学		—	2前		2		○◎					
リハビリテーション概論		158	3前		2				○			
遺伝学の基礎	159	4前		1					○			
専門科目	基礎看護学	看護学概論	—	1前	1		●				看護師課程 77単位（必修73単位、選択4単位） 保健師課程 92単位（必修88単位、選択4単位）	
		基礎看護技術論Ⅰ	—	1前	3		●					
		基礎看護技術論Ⅱ	—	2前	3			●				
		ヘルスアセスメント方法論Ⅰ	—	1後	1		●					
		ヘルスアセスメント方法論Ⅱ	—	2後	1			●				
		看護教育論	165	4前	2							●

科目	区分	科目名称	ページ	配当	単位		看護学科				履修方法
					必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
専門科目	地域・在宅看護論	地域・在宅看護学Ⅰ	—	1後	2		●				
		地域・在宅看護学Ⅱ	—	2前	2			●			
		地域・在宅看護学方法論	168	3前	2				●		
	成人看護学	成人看護学概論	—	2前	2			●			
		成人看護学方法論Ⅰ	—	2後	2			●			
		成人看護学方法論Ⅱ	171	3前	2				●		
	老年看護学	老年看護学概論	—	2前	2			●			
		老年看護学方法論	—	2後	2			●			
	小児看護学	小児看護学概論	—	2後	2			●			
		小児看護学方法論	175	3前	2				●		
	母性看護学	母性看護学概論	—	2後	2			●			
		母性看護学方法論	177	3前	2				●		
	精神看護学	精神看護学概論	—	2前	2			●			
		精神看護学方法論	—	2後	2			●			
	看護の統合と実践	IPW論	—	2前	1			●			
		IPW演習Ⅰ	181	3前	1				●		
		看護研究法	183	3前	2				●		
		看護提供システム論	184	4前	2					●	
		IPW演習Ⅱ	185	4前	1					●	
		災害看護学	186	4前	1					●	
		看護の専門と発展	187	4前	1					●	
		看護課題探求Ⅰ	188	4前	2					●	
		看護課題探求Ⅱ	189	4後		2					○
		エンドオブライフ・ケア	190	4前		2					○
		国際看護学	191	4後		2					○
	臨地実習	早期体験実習	—	1前	1		●				
		基礎看護学実習Ⅰ	—	2前	1			●			
		基礎看護学実習Ⅱ	—	2後	2			●			
		在宅生活支援実習	195	3後	2				●		
		成人看護学実習	196	3後	4				●		
老年看護学実習		197	3後	4				●			
小児看護学実習		198	3後	2				●			
母性看護学実習		199	3後	2				●			
精神看護学実習		200	3後	2				●			
統合実習Ⅰ(管理実習)		201	4前	1						●	
統合実習Ⅱ(地域包括ケア実習)	202	4前	2						●		
公衆衛生看護学関連科目	公衆衛生看護学概論	203	3前		2			○◎			
	公衆衛生看護学活動論	204	3前		2			○◎			
	公衆衛生看護学方法論Ⅰ	205	3後		2			○◎			
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ	206	4前		2				○◎		
	公衆衛生看護管理論	207	4後		2				○◎		
	公衆衛生看護学実習Ⅰ※	208	4前		3					◎	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ※	209	4前		2					◎	

<看護の統合と実践>の「看護課題探求Ⅱ」、「エンドオブライフケア」、「国際看護学」のうち4単位以上選択

※は保健師課程のみ履修可能

看護師課程：合計127単位（必修113単位、選択14単位）以上を取得すること。

保健師課程：合計143単位（必修133単位、選択10単位）以上を取得すること。

看護学科の年間履修単位数の上限は、48単位とします。